

## 第1学年

# 書くこと①

日常生活の中から課題を決め、材料を集めながら自分の考えをまとめること

## つまずきの実態

～こんな生徒の姿が見られませんか？～

書くことに苦手意識をもっており、テーマについて様々な角度から自分の考えを書くことができない。

書く問題は苦手だから、やめておこう。



「学校」というテーマだけけれど、どんな内容を書けばいいのかな……。

- 協力校で実施したつまずきの調査問題では、「書くこと」の領域で解答する問題は無解答率が高くなる傾向にある。
- 自校での作文についてのアンケートでは、「作文を書くときに困ること」として、55.0%の生徒が「どんな内容を書けばよいかわからない」を挙げている。

## 実践の概要

単元名

小学6年生に向けて学校紹介文を書こう

「学校新聞の記事を書こう」東京書籍

目標 小学6年生に向けて学校紹介文を書く。

内容 • 樹形図を使い、学校を構成する要素を項目立てて整理する。

• 紹介したい事柄をできるだけ多く考える。

• 考えた事柄を交流する。

• 挙げられたものの中から1つを選び、紹介文を書く。

## 学習内容の系統と各学年に見られるつまずき

	学習内容（単元名）	つまずきの実態
第3学年	2つの異なる考え方の文章を比較しよう	異なる考え方を取り入れ、自分の考えを深めていくことができない。
第2学年	様々な方法で資料を集め、スポーツについてのレポートを書こう	複数の資料を集め、それらを比較・検討して自分の考えをまとめることができない。
第1学年	小学6年生に向けて学校紹介文を書こう	書くことに苦手意識をもっており、テーマについて様々な角度から自分の考えを書くことができない。

## 単元末の目指す姿

- 課題について整理することで、進んで作文に取り組むことができるようになる。
- 他の生徒の意見を知ることで、自分の考えを広げ、新たな視点で物事を考えられるようになる。

## つまづき解消に向けた指導の工夫 ①

### 樹形図を用いて構成要素を整理させる。

活動のねらい▶ 物事を考える際に、様々な視点があることに気付かせる。

#### ここがポイント

- 「学校」という大きなテーマを、生活・人・環境という項目に分ける。
- それぞれの項目について、例えば「生活」ならば、「学校での生活では、みんなはどんなことをしているだろう?」といった問いかけをし、授業や行事、部活動といった、具体的な下位項目を考えさせる。

### 樹形図を使い、項目立てて整理する



分類されているから、それぞれのつながりがわかりやすいな。

#### (期待される生徒の姿)

大きなテーマも項目に分けることで具体化できる。また、課題について、様々な視点から見て文章を書くことのできるのだという気付きにつながる。

## つまづき解消に向けた指導の工夫 ②

## ★対話的な学びにつながる実践

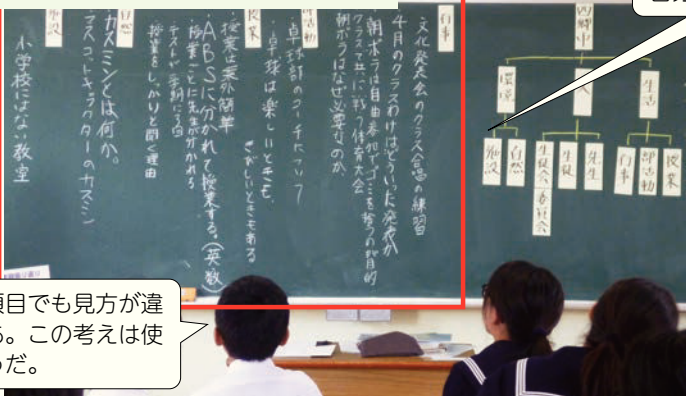
### 様々な意見を板書し、交流させる。

活動のねらい▶ 多様なものの見方に気付かせる。  
• 書く内容を考えにくい生徒も、出た意見を参考にして考えられるようにする。

#### ここがポイント

- 樹形図にまとめた一番下位の項目について、具体的にどのようなことを6年生に紹介したいと思うかを、一文でノートに書かせる。
- 3つ以上書けた生徒からノートを点検し、その中からなるべく多様な意見を取り上げて、黒板に板書させ、全体で交流する。  
※出た意見を参考にして考えてもよいことを伝える。

### 紹介したい事柄を黒板に書く



同じ項目でも見方が違うなあ。この考えは使えそうだ。

#### (期待される生徒の姿)

できるだけ多様な意見を取り上げ、それをクラスで交流することで、考えが広がり、それをいかして紹介文を書くことができるなど、対話的な学びにつながる。